



(社医) 美杉会
(社福) 美郷会

ふれあい便り

No.105
2026.7.31

発行

社会医療法人美杉会
五七三二四 枚方市養父東町六五一
電話 〇七二八六四一八二一

社会福祉法人美郷会

五七三二七 枚方市西招提町二五三
電話 〇七二八六六七〇〇七

マスクと手袋

社会医療法人美杉会
社会福祉法人美郷会

会長 佐藤 眞杉
さとう まさき



佐藤病院では、本年六月一日から、患者さん、職員ともにマスクの着用が任意になりました。

「マスクの歴史」について、『世界を変えた医療器具の歴史』（キャロル・クーパー著、野口正雄訳・原書房）に詳しいので、引用します。

二千年前のローマ時代に、哲学者の大プリニウス（二三〜七九）が動物の膀胱からマスク（顔当て）を造っています。それは鉱物の粉塵を吸い込まないためでした。十四世紀半ばにペストが流行すると、このマスクは大いに役に立ちました。

十九世紀に、パスツールが感染症の原因が細菌であることを解明し、当時のドイツの外科医ヨハン・ミクリッツが一八九七年にガーゼにひものついたマスクを考案しました。

外科医は十九世紀末まで手袋をつけずに手術をしていました。現代的な手術用手袋の発展に貢献したのがアメリカの外科医ハルステッド（一八五二〜一九二二）でした。

彼は手術室の優秀な看護師長の手が、消毒剤によって皮膚炎を繰り返

している様を見て、ゴム会社に薄いゴム製の手袋を作らせました。この手袋は良い結果をもたらし、二人は結婚しました。

一八九九年に、ジョセフ・コルト・ブラッドグッド（一八六七〜一九三五）が、手術中に手袋を使うことで、術後感染症の発生率が、17%から2%未満に大幅に減ることを示しました。

同様のことを、私が医師になった頃、赴任先の病院で体験しました。その病院の外科では術後に創感染が頻発しました。新米医師にはその原因がわかり様もなく、上洛の折に、母校、京都大学外科学教室の横山育三助教授（当時）を訪ね、術後の創感染の対策について教えるを請いました。

助教授は、「君の病院では手術の際手袋をしているか？」と尋ねられ、「医長の方針で素手で」と答えたところ、「手術の際は必ず手袋をしなさい」と教えて下さり、以後、術後の創感染はピタリと止まりました。とてもありがたかった教えました。

マスク着用のルール変更



院長 河合 泰博
かわい やすひろ

この夏も、猛暑の日が多くなりそうですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年アメリカとイランの戦争が始まり、全世界が翻弄されており、人道的にももちろん問題ですが、日本も原油高からさらなる物価高となり、医療機関も厳しい状況となっており、二年に一度の診療報酬改定では、対応できなくなってきたとおり、急な物価高などに臨機応変に対応できるシステムが求められています。

佐藤病院、男山病院では、コロナもおちついてきましたので、この六月一日からマスク着用は、外来・病棟とも任意とさせて頂きました。コロナ以前の対応とおなじです。もちろん症状ある方は、マスク着用をお願いいたします。もし、インフル・コロナが一定水準まで蔓延すれば、マスク着用をお願いする

ことになると思います。それから、男山病院では五月十一日から、佐藤病院では六月八日から面会時間を十四時から十八時までと延長させていただき、同時に三人までと人数も緩和させていただきました。面会を希望される方には、朗報です。

また、この六月から、新しく循環器の重本義一先生が赴任されました。京都大学出身で、カテーテル治療などを専門としております。当院の心血管治療センターとして、これからも、地域の方の要望に応えられたいと思います。相変わらず、経営は難しい環境ですが、職員一同なんとか地域の皆様により良い医療・介護を提供し続けたいと思いますので、ぜひ応援をよろしくお願いいたします。

法人理念

美杉会グループの願い

- ・ 私たちは患者さんの苦痛をすみやかに和らげることに努めます
- ・ 利用者さんが心豊かで安心した生活を送れるよう支援します
- ・ 常に向上への志を持ちます
- ・ 医療・保健・介護を包括的に行之
- ・ 地域社会へ貢献します

Comprehensive Community Care

新任医師 紹介

男山病院
整形外科 副部長 山口 さおり

☆産業医科大学…二〇〇六年卒
☆専門分野…整形外科
☆専門医・資格…日本専門医機構認定
整形外科専門医

二〇二六年四月一日より、
整形外科に赴任いたしました
山口さおりと申します。

二〇〇六年に産業医科大学
を卒業後、全国の労災病院を
はじめとする関連病院に勤務
し、その後故郷の関西に戻って
参りました。

これまで主に外傷を中心に
診療を行ってきましたので、外
傷分野で地域医療に貢献でき
ればと考えております。今後
高齢化が進むにつれ、以前手
術された部分の周囲で骨折が
起こるなど、様々な骨折形態
に対する治療の重要性が増す
と考えられます。日々誠実に
患者さんに向き合い、診療に
励む所存です。どうぞよろし
くお願いいたします。

佐藤病院

放射線部

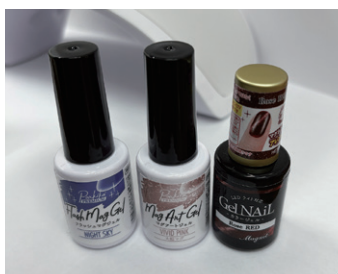
MRI検査前に知っておきたい
ネイルについて

診療放射線技師 主任 山本 竜二

近年、ネイルアートの普及に伴い、
MRI検査時の安全性について注意喚
起が求められています。特にジェルネ
イル、マグネットネイル、フラッシュネ
イルなどには鉄粉や金属粒子、微細な
金属成分が使用されている場合があ
り、MRIの強力な磁場や高周波によ
り、発熱や熱傷、不快感を生じる可
能性があります。また、磁化率の差に
よって画像の歪やアーチファクト(医
療画像上に実際には存在しない構造や
現象が現れること)が発生し、診断に
影響を及ぼすことがあります。

一方で、MRI検査に影響のないネ
イルもありますが、ラメや装飾部品、金
属成分の有無を外見だけで正確に判断
することは困難です。安全に検査を行
うため、MRI検査前にはネイルを外
してご来院い

ただくよう
お願いいたし
ます。安全で
質の高い検査
実施のため、
皆さまのご理
解とご協力
をお願いします。



男山病院

薬剤部

高齢者の肺炎球菌ワクチン
定期接種が変わりました

薬剤師 中川 由梨子

肺炎球菌は、肺炎の他に菌血症や髄
膜炎等の命に関わる重い感染症を起こ
すことがある細菌です。高齢になるほ
ど感染しやすく、重症化しやすいこと
が知られています。

二〇二六年四月から、高齢者の肺
炎球菌ワクチンの定期接種で用いられ
てきたワクチンが、ニューモバックス
(PPSV23) から、プレベナー二
十(PCV20)に変更されました。

今までのニューモバックスでは効果の
持続が五年間といわれており五年ごと
の再接種が行われてきました。今年度
から変更されたプレベナー二十は、免
疫を記憶させる力が強く、効果が長期
間続いたため、原則一回の筋肉注射で完
了します。

接種対象となるのは六五歳の方と、
六十〜六四歳で基礎疾患のある方
です。基礎疾患のない方が公費の補助を
受けられる期間は六五歳の一年間です。
自治体からお知らせが届いたら早めに
接種をご検討ください。また、定期接
種の期間を過ぎてしまった場合でも任
意接種(自費)で受けることが可能で
す。

みのやま病院 リハビリテーション部

地域包括ケア病棟の開設と
リハビリテーション部について

理学療法士 荒木 駿介

当院に地域包括ケア病棟が開設さ
れ、約一年半経過しました。

現在、リハビリテーション部におき
ましては、病棟もリハビリ室も新しく
清潔な環境が整い、多くの患者様が
日々笑顔で、大変意欲的にリハビリに
取り組まれています。

また、生活に向けた実践的な訓練と
して、屋外歩行で近隣の公園へ向かう
機会も設けております。日差しがたつ
ぷりと降り注ぐ自然の中を歩き、季節
の風を感じながら体を動かして頂くこ
とで、「気持ちいが明るくなる」「歩く自
信がついた」「久々に外を歩いて楽しい」
等の大変温かいお声をいただいております。
そのような前向きなお声を聞く
たび、私たちスタッフも大いに元気を
頂いております。

これからも皆様一人一人の目標にしつ
かりと寄り添い、住み慣れた地域でご
自分らしく、安心した生活を送って頂
けるように、全力でサポートして参り
ます。

今後とも、どうぞよろしくお願いい
たします。

ホームヘルパーステーション むらの

訪問介護の調理に

たずさわって

介護福祉士 南部 和恵 ななみ かずえ

施設からヘルパーに異動して三年になります。生活援助では掃除、洗濯、買物、調理と様々な支援があります。調理は決められたメニューや冷蔵庫内を見てある食材で調理をするなど決められた時間内に提供しなければいけないので苦手分野でしたが生活援助に入らせていただく中でこれまでご自身で調理出来ていた利用者様が徐々に難しくなってきたヘルパーが調理の支援に入るようになりました。温かいご飯や野菜を多く取り入れた食事を提供し野菜がしっかりと取れて嬉しいと笑顔が多くなり以前は横になって過ごされていたのが「いい匂い」とキッチンまで起きて来られる事も多くなりました。調理、食事には五感「視覚」「聴覚」「嗅覚」「味覚」「触覚」を使い情緒の豊かさを育み日々の生活動作の質を高める大きなメリットがあると改めて感じました。苦手な分野でしたが利用者様が美味しかったと喜んでくださり元気になっていられる姿を通して私自身も笑顔になりました。今では私自身調理も手早くなりレパートリーも増えて喜んでおります。

地域包括支援センター 美杉会

身近な相談窓口を目指して

社会福祉士 岡田 貴子 おかた たかこ

八幡市委託事業である認知症カフェ「カフェぽつぽ」にて、地域住民の皆さまに向けて地域包括支援センターの活動についてお話をする機会をいただきました。

地域包括支援センターでは、高齢者に関する介護サービスや保健福祉サービス、日常生活支援などの相談に応じています。八幡市には担当地域ごとに四か所の地域包括支援センターが設置されており、専門知識を持つ職員がそれぞれ専門性を活かしながら協働して相談対応を行っています。当日は、こうした内容を分かりやすくお伝えしたところ、参加者からは「名前は聞いたことがあるけどよく知らなかった。そういう場所なんや」「分かり易くてよく分かった」等の感想をいただきました。

今後地域住民の皆さまに地域包括支援センターを知っていただき、身近な相談窓口として気軽に相談に来ていただける場所となるよう努めてまいります。そして、必要な支援につながり、住み慣れた地域で健やかに生活していただけるよう取り組んでまいります。

デイケアセンター 美杉

自分らしく参加できる

デイケアへ

介護福祉士 西岡 千尋 にしおか ちひろ

美杉デイケアでは、利用者さんがより充実した時間を過ごして頂けるよう新たな取り組みを行っています。利用者さんご自身に参加したい活動を選んで頂く「選択レクリエーション」を導入しました。活動内容を選択して頂くことで意欲向上に繋がります。利用者の交流も増えています。また、リハビリ効果の高い三種の体操を取り入れるとともに、パワーリハビリの自由化にも取り組んでいます。利用者さんそれぞれのペースに合わせて参加して頂くことでより主体的にリハビリを取り組まれる様子が見られています。体操やリハビリの場面では自然と笑顔や会話も増え「良かった」「また参加したい」といった嬉しいお声も頂いています。今後も多職種で連携を図りながら、利用者さん一人ひとりに寄り添った支援を大切に、安心して楽しく過ごして頂ける環境づくりに努めて参ります。

介護老人保健施設 美樟苑

オムツマイスター

介護福祉士 荒 柄砂 あらか つかさ

「オムツマイスター」とは、適切な製品選定と当て方のスキルを習得し専門性を高め、排泄ケアの意識改革を促し、プロ意識を高める資格です。

講義では、パットのサイズ（容量）やギャザーの立て方、清拭方法等、学びます。そして、テストを経て、「オムツマイスター認定」が授与されます。資格取得では、正しい排泄知識を基に、スキンケアや感染対策、尿や便の観察、オムツ構造、適切な製品選定等を総合的に学びます。また、新人指導やマニュアル作成、漏れ対策、ご家族への説明など、さまざまな場面で活用できます。取得することで、介護の質向上だけでなく、スタッフの意識向上や業務負担の軽減、コスト削減にもつながる資格です。

今後も、排泄に関する知識を高めることで、利用者さんの自立を促し、「オムツからトイレ」で排泄できるように支援し、より快適に過ごせるように取り組みたいと思います。

小規模特別養護老人ホームくずは美郷

デイサービスでの

個別機能訓練について

介護福祉士 中尾 理
なかお り

くずは美郷のデイサービスでは、今年度の四月より機能訓練指導員が作成したプランに基づく個別機能訓練を開始しました。運動をして頂く機会を増やし、筋力維持を目標としています。

長い廊下を利用している歩行訓練ではスタート地点で皆さんハイタッチをし、折り返しでは、「はい、タッチ。頑張れ」とお互いに声を掛け、冗談を言い合いながら楽しく取り組んでいます。

その他、ペダル漕ぎや滑車、エアロバイクを使用した個別運動も実施しており、運動することでポイントが貯まると靴下やハンカチなど素敵なプレゼントをお渡ししています。皆さん「ポイント」と言って意欲的に取り組まれています、大変好評です。

今後も楽しみながら運動ができ、心身機能を維持し、この先も在宅生活を継続できる様、支援していきたいと思ひます。



特別養護老人ホーム 美来

手先が覚えている

笑顔のフワワタイム

介護福祉士 岡本 幸子
おかもと さちこ

二階ユニットでは、毎月恒例行事として、生花レクリエーションを開催しています。

きっかけは、認知症ケアの研修でした。「その人らしさを引き出すケア」を模索する中で、ある入居者さんが、かつて華道をたしなんでおられたことに着目し、お花を用意したところ、普段は会話が難しい状態であっても表情が驚くほど生き生きと輝きました。

手慣れた様子で枝葉を整え、昔の思い出を楽しそうに語られる姿に深く感動し、この取り組みを始めました。

今では、他の華道経験のある入居者さんを中心に賑やかに花を囲み、完成した作品はエレベーター前に飾り、皆さんにも楽しんでいただいています。

季節を感じながら、これまで培ってきた経験や自信が、笑顔を引き出す原動力になっています。これからも皆様の「輝く瞬間」を大切に育んでまいります。



特別養護老人ホーム 香里美来

看取りについて

介護福祉士 主任 宮川 知之
みやがわ としゆき

令和七年度の香里美来での退居者数は十三人となります。その内、施設で看取りさせて頂いた利用者さんは五人でした。

香里美来での看取りは特別な対応は行わず、看取り期間であっても体調が良ければお食事もして頂き、入浴もして頂きます。体調の良い日にはご家族と施設周辺を散歩されることもあります。最期まで出来る限り今までと変わらない生活を送って頂けるように介護・看護・栄養部・事務室の施設全体で連携し看取り介護に取り組んでいます。

食えることが困難になってこられてもご家族に協力頂き、食べやすい物、また好物であった物等を持参して頂くことで食事を楽しんで頂けるように支援しています。

利用者さん、ご家族の意向を踏まえながら、その人らしい最期を迎えて頂けるよう、今後も施設全体で努めて参ります。

特別養護老人ホームむらの美来

夏の食中毒予防について

管理栄養士 主任 藤木 真理子
ふじき まりこ

昨年、全国の食中毒発件数は、千七百七十二件・患者数は二万四千七百二十七人で、前年より増加しました。ノロウイルスが件数・患者数共に最多で、冬に集中して発生しています。

一方、「カンピロバクター」等の細菌性食中毒は、高温多湿で菌が増殖しやすいため、夏に発生リスクが高まります。カンピロバクターは主に鶏肉に付着しており、生焼けの状態で食べた場合や、生肉を扱った手指や調理器具からの二次汚染で発生します。家庭でのリスクはもちろん、バーベキュー等の屋外調理でも注意が必要です。

カンピロバクターは熱に弱く加熱により死滅するため、予防には鶏肉を十分加熱することが重要です。また、生肉に触れた手指や調理器具はよく洗い、乾燥させて二次汚染を防ぐことや、食材を常温に放置せず、調理直前まで冷やしておくことも大切です。

日々の工夫で食中毒は防ぐことができます。調理や保存方法を見直し、安全に夏を過ごしましょう。

ホームヘルパーステーション 向島

ICタグ導入を活用した
新たな取り組み

介護福祉士 主任 徳田 長子
（とくだ ながこ）

ヘルパーステーションでは4月からICタグを導入し、利用者さんの情報や支援内容をスムーズに確認できるように取り組んでいます。

これまでは紙での確認や口頭での申し送りでしたが、ICタグ導入により必要な情報をすぐ確認できるようになり、記録や申し送りの時間短縮につながっています。

また、職員同士で情報共有がしやすくなり、利用者さんの体調や注意点も伝わりやすくなりました。業務がスムーズになった分、利用者さんに関わる時間を大切にできるようになり、安心して支援につながっています。これからICタグを活用しながらより良い支援や業務改善につなげていきたいと思っています。



特別養護老人ホーム 大枝美郷

大枝美郷五周年記念会

介護福祉士 主任 森 貴浩
（もり たかひろ）

大枝美郷の開設五周年を祝い、記念レクリエーションを開催しました。当日は約百名の利用者さんにご参加頂き、会場はたくさんの方々の笑顔と拍手に包まれました。

記念レクリエーションでは、介護士や看護師、事務員など多職種の職員が一致団結。マジックショーや寸劇、リズム体操に加え、「マツケンサンバ」のダンスを披露し、会場

は大きな歓声と熱気に満ちあふれました。また、五年間の歩みを振り返る記念ムービーの上映では、日々の思い出がスクリーンに映し出され、一同が感動に包まれる温かな時間となりました。

これからも地域に深く根ざし、誰もが安心して笑顔で過ごせる場所であり続けるよう、職員一同歩んで参ります。



有料老人ホーム 美華

仕事のやりがいと
自身の体調について

介護福祉士 西 晃憲
（にし あきのり）

現在、私は美華に入職してから早いもので十年目に入りました。まだ新人の頃、仕事に一生懸命打ち込んでいたなかで、ある日突然指定難病を患ってしまった、約三ヶ月間の休職を頂くことになりました。幸いにも回復し、最近までは経過観察の状態です。通院を続けていたのですが、昨年の年末に再発が確認され、一時はこのまま仕事を続けていくのかという大きな不安に襲われました。ですが、職場の皆さんの温かい支えやサポートのおかげで、勤務体制にも融通を利かせて頂きながら、現在もこうして仕事を続けることができています。

多くの方々に支えられるなかで、「自分にもできることで恩返しをしたい」と考えるようになり、最近では利用者さんと楽しい時間を共有し、その一瞬を写真に残していくため、レクリエーション活動に力を注いでいます。一緒にお散歩をしたり、パターゴルフを楽しんだりするなかで、利用者さんの『最高の笑顔』を写真に収めることができた瞬間は、私にとって何よりのやりがいです。

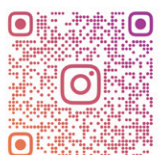
今後も自身の体調管理には十分に留意しながら、利用者さんの生活の質をさらに高めていけるよう、より一層尽力していきたいと考えております。

有料老人ホーム フィオーレ美杉

フィオーレ美杉
公式インスタグラム開設

介護療養部 主任 小泉 伸吾
（こいずみ しんご）

フィオーレ美杉では、この度公式インスタグラムを開設いたしました。日々の生活の中で見せる利用者さんの素敵な笑顔や、施設内で行われる行事の様子を、より身近に感じて頂きたいという想いから始めたものです。今までは、ご家族に直接お会いした際や、お便り等でしかお伝えできなかった日常の風景を、写真や動画を通してリアルタイムでお届けして参ります。「今日はこんな美味しいものを食べたんだ」「こんなレクリエーションを楽しんだんだ」といった発見を、ぜひご家族の皆様で共有してください。操作方法等で不明な点があれば、職員までお気軽にお声がけください。これから、利用者さんの生き生きとした表情を発信して参ります。是非、フィオーレをお願ひいたします。



フィオーレ美杉の
日常をお届けします

FIOREMISUGI

▲公式 Instagram はこちら



佐藤病院 大阪府がん診療拠点病院
(併設)高精度放射線治療センター
居宅介護支援事業所

〒573-1124 枚方市養父東町65-1
TEL.072(850)8711(代) FAX.072(868)3844

ホームページ <https://misugikai.jp>

男山病院 (併設)居宅介護支援事業所
地域包括支援センター

〒614-8366 京都府八幡市男山泉19
Tel.075(983)0001(代) Fax.075(971)1082

本誌送付に関する
ご確認

・継続して郵送を希望される方
・送付先の住所・氏名に変更のある方
・送付が不要になった方

フォームより
お申込みください



●みのやま病院

〒614-8294 八幡市欽明台北4-2
Tel.075-983-1201(代)

●佐藤病院 介護医療院(佐藤病院内)

〒573-1124 大阪府枚方市養父東町65-1
佐藤病院 西館4階
Tel.072-800-1554

●佐藤クリニックまきの

〒573-1148 枚方市西牧野4-8-10
Tel.072-866-8606

●佐藤クリニックくずは

〒573-1121 枚方市楠葉花園町12-5-3
Tel.072-864-5755

●介護老人保健施設美杉

(併設)グループホーム・訪問入浴・居宅介護支援事業所
グループホーム・訪問入浴・居宅介護支援事業所
〒573-1137 枚方市西招提町2166
Tel.072-866-7111

●介護老人保健施設美樟苑

(併設)グループホーム・居宅介護支援事業所
〒573-1124 枚方市養父東町18-30
Tel.072-867-0224

●有料老人ホームフィオーレ美杉

〒573-1137 枚方市西招提町1255
Tel.072-864-0108

●美杉会健診センター

〒573-1137 枚方市西招提町1255
Tel.072-864-0103

●美杉会訪問看護ステーション

・まきの
〒573-1124 枚方市養父東町65-1
Tel.072-867-0601

●男山

〒614-8366 八幡市男山泉19
Tel.075-972-2661

●美杉会ホームヘルパーステーション

・まきの
〒573-1124 枚方市養父東町65-1
Tel.072-867-0555

・長尾

〒573-0153 枚方市藤阪東町3-5-8
Tel.072-858-1511

・男山

〒614-8366 八幡市男山泉19
Tel.075-972-2671

●特別養護老人ホーム美郷

(併設)グループホーム・居宅介護支援事業所
〒573-1137 枚方市西招提町1253
Tel.072-866-7007

●小規模特別養護老人ホームくずは美郷

〒573-1105 枚方市南楠葉1-65-25
Tel.072-864-5422

●小規模特別養護老人ホームくずは西美郷

〒573-1122 枚方市西船橋2-58-3
Tel.072-867-8075

●特別養護老人ホーム美来

(併設)小規模多機能ホーム・居宅介護支援事業所
〒576-0051 交野市倉治4-40-7
Tel.072-810-8670

●特別養護老人ホームかたの美来

〒576-0061 交野市東倉治5-8-8
Tel.072-891-0061

●特別養護老人ホーム香里美来

〒573-0075 枚方市東香里1丁目18-12
Tel.072-853-1881

●特別養護老人ホームむらの美来

グループホーム・小規模多機能ホーム
ホームヘルパーステーション・居宅介護支援事業所
〒573-0016 枚方市村野本町24番69号
Tel.072-800-4072

●高齢者複合施設向島美郷

・特別養護老人ホーム

・サービス付き高齢者向け住宅

デイサービス・ショートステイ・小規模多機能ホーム
ホームヘルパーステーション・居宅介護支援事業所
〒612-8134 京都市伏見区向島清水町189-1
Tel.075-606-2299

●特別養護老人ホーム大枝美郷

(併設)デイサービス・ショートステイ・居宅介護支援事業所
〒610-1151 京都市西京区大枝西長町12-25
Tel.075-366-4700

●有料老人ホーム美華

〒573-1138 枚方市招提北町2-34-1
Tel.072-864-5713

●有料老人ホームまきの美郷

〒573-1149 枚方市牧野北町11-15
Tel.072-850-9271

・小規模多機能ホームまきの美郷

Tel.072-850-9273

●高齢者複合施設フルール長尾

・有料老人ホーム

・サービス付き高齢者向け住宅

デイサービス・ショートステイ・居宅介護支援
〒573-0153 枚方市藤阪東町3丁目5-8
Tel.072-807-5258

●サービス付き高齢者向け住宅フルール東山

〒573-1114 枚方市東山2-29-1
Tel.072-856-2001

●サービス付き高齢者向け住宅フルール田ノ口

(併設)デイサービス
〒573-1161 枚方市交北3-9-12
Tel.072-807-7050

●ケアハウス楠葉新生園

〒573-1111 枚方市楠葉朝日1-22-14
Tel.072-851-1600

●枚方市地域包括支援センター美郷会

〒573-0064 枚方市北中振1-8-13
Tel.072-837-3288

